

福岡県医発第 988 号 (総)

平成 19 年 9 月 8 日



各 医 師 会 長 殿

福岡県医師会

会長 横 倉 義 武

(公印省略)

日本医師会後発医薬品の使用に関する
アンケート調査への協力について (お願い)

標記について、日本医師会より別紙のとおり、アンケート調査を実施するため、その協力依頼がまいりました。

本調査は、後発医薬品の使用状況、課題等について、詳細かつ広範に情報を把握し、中医協において、平成 20 年 4 月に行われる診療報酬改定に向けて検討課題とされる「後発医薬品の使用促進」を議論する上で重要な資料とするために実施されるもので、日本病院薬剤師会の会員が所属する全国 6,661 施設が対象となります。

本調査の趣旨をご理解いただくとともに、貴会所属の会員施設より照会がありましたらご協力いただきますようご高配方よろしくご願い申し上げます。

小郡三井医師会より

担当理事 廣瀬真恵



平成19年8月28日

都道府県医師会

社会保険担当理事 殿

日本医師会常任理事

鈴木



日本医師会 後発医薬品の使用に関するアンケート調査の実施について

今般、『日本医師会 後発医薬品の使用に関するアンケート調査』を実施することといたしましたので、ご連絡申し上げます。

日本医師会では、昨年5月に後発医薬品に対する臨床医の信頼度を確認するため、緊急調査をインターネット上で行い、本年5月に中央社会保険医療協議会（中医協）においてその結果を報告いたしました。

今回の調査では、後発医薬品の使用状況、課題等について、さらに詳細かつ広範に情報を把握し、中医協において、次回（平成20年4月）診療報酬改定に向けて検討課題とされる「後発医薬品の使用促進」を議論する上で重要な資料とするために実施させていただくものであります。

本調査は、日本病院薬剤師会のご協力の下、日本病院薬剤師会の会員が所属する全国6,661施設を対象とさせていただき、特定機能病院とそれ以外の病院に分類の上、下記のような2つの調査を実施いたします。

本調査について、貴会所属の会員施設より照会がありましたら、是非、ご協力いただきますようご高配方よろしくお願いいたします。

記

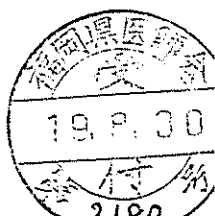
《調査①：後発医薬品の使用状況と問題点の調査》

（1）対象

日本病院薬剤師会会員が所属する6,661施設

（2）回答者

全病院の病院長（もしくは臨床部門の責任者）等、医薬品使用状況をご存じの医師



(3) 調査項目

医療機関プロフィール、過去2年間（2005年（平成17年）9月～2007年（平成19年）8月末）における後発医薬品使用の経験、後発医薬品を採用した理由、後発医薬品の品質・副作用・効果・供給体制・情報提供体制、処方せん様式の変更の賛否 等

(4) 調査方法

日本医師会から客体施設に直接調査票、依頼書を発送。医療機関は必要事項を記入後、返信用封筒を用いて、日本医師会に返送する。

《調査②：後発医薬品の使用についての問題事例調査》

(1) 対象

特定機能病院82施設

(2) 回答者

薬剤部長・薬局長等の薬剤部門の責任者

(3) 調査項目

過去2年間（2005年（平成17年）9月～2007年（平成19年）8月末）における問題のあった後発医薬品の品目数・問題の具体的な事例

(4) 調査方法

日本医師会から客体施設に直接調査票（CD-Rに保存）、依頼書を発送。医療機関はPC上で必要事項を記入後、電子メールで返信、または記入した調査票をプリントアウトし、返信用封筒を用いて、日本医師会に返送する。

《調査スケジュール》

平成19年 8月 末日：調査票発送（協力依頼）

平成19年 9月20日：調査票回収締め切り

平成19年10月 末日：集計・分析結果報告

(添付資料)

1. 特定機能病院以外の病院へ送付する一式

- (1) 日本医師会長名依頼文書（調査客体病院長・施設長あて）
- (2) 後発医薬品の使用に関するアンケート調査 実施要綱
- (3) 後発医薬品の使用に関するアンケート調査「調査票」
- (4) 返信用封筒（1、2 共通）

2. 特定機能病院へ送付する一式

- (1) 日本医師会長名依頼文書（調査客体病院長・施設長あて）
- (2) 日本病院薬剤師会会長名依頼文書（調査客体薬剤部長・薬局長あて）
- (3) 後発医薬品の使用に関するアンケート調査 実施要綱
- (4) 調査① 後発医薬品の使用に関するアンケート調査「調査票」
- (5) 調査② 後発医薬品の使用に関するアンケート調査
問題事例調査「調査票」
- (6) 調査② 後発医薬品の使用に関するアンケート調査
問題事例調査【回答方法等の解説】

平成19年8月

調査客体

病院長・施設長 殿

日本医師会長

唐 澤 祥 人

日本医師会 後発医薬品の使用に関するアンケート調査の
ご協力について（ご依頼）

謹啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

医療環境の大変厳しい中、国民の健康のために、日頃より地域医療の確保にご尽力賜り、心から感謝申し上げます。

さて、今般『日本医師会 後発医薬品の使用に関するアンケート調査』を実施することといたしました。

これは、後発医薬品の使用について医療現場でのお考え等を把握することで、次回（平成20年4月）診療報酬改定に向けて検討課題とされる「後発医薬品の使用促進」を議論する上で重要な資料とするために実施させていただくものです。

日本病院薬剤師会のご協力の下、日本病院薬剤師会の会員が所属する全国6,661施設を対象とさせていただきました。ご多忙のところ誠に恐縮でございますが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力賜りたくお願い申し上げます。

つきましては、別紙の「調査票」に必要事項をご記入の上、平成19年9月20日（木）までに同封の返信用封筒にてご返送くださいますようお願い申し上げます。

ご提出いただいた調査票の取扱いは厳重にし、本調査は上記目的以外には使用せず、個別のご協力施設のデータの特定化や公表も一切行わないことをお約束いたします。

また、調査内容等に関するお問い合わせにつきましては、集計を担当いたします日医総研（担当：坂口、森）宛に電子メール（shoukai@jmari.med.or.jp）にてご連絡いただきますようお願いいたします。

ご多忙の折、誠に恐縮ではありますが、ご協力のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

敬具

日本医師会
後発医薬品の使用に関するアンケート調査 実施要綱

1. 目 的

- 我が国の後発医薬品の使用状況についての基礎資料を得、よりよい医療制度の実現のために、医療現場の情報を政策に反映させること。
- 今後、中医協において次回診療報酬改定に向けて検討課題とされる「後発医薬品の使用促進」に対する見解を作るための基礎データとする。
- 医療現場で「後発医薬品使用により問題あり」とされた具体例の収集を行う。

2. 調査客体

- 日本病院薬剤師会会員の所属する 6,661 施設

3. 調査項目・調査方法

《後発医薬品の使用状況と問題点の調査》

- 対 象：6,661 施設
- 回 答 者：病院長（もしくは臨床部門の責任者）等、医薬品使用状況をご存じの医師
- 項 目：医療機関プロフィール、過去 2 年間（2005 年（平成 17 年）9 月～2007 年（平成 19 年）8 月末）における後発医薬品使用の経験、後発医薬品を採用した理由、後発医薬品の品質・副作用・効果・供給体制・情報提供体制、処方せん様式の変更の賛否 等
- 調査方法：日本医師会から客体施設に直接調査票、依頼書を発送。医療機関は必要事項を記入後、返信用封筒を用いて、日本医師会に返送する。

4. 調査スケジュール

- 2007 年 8 月末日：調査票発送（協力依頼）
- 2007 年 9 月 20 日：調査票回収締め切り
- 2007 年 10 月末日：集計・分析結果報告